

鳥取市庁舎整備を巡る5月の住民投票で新築移転案を推進した「市役所の新築移転を実現する市民の会」（現在休止中）の会長だった近藤儀徳さん（73）が26日、市議会の中西照典議長を訪問。住民投票で多数を占めた市庁舎の耐震改修案が原案通りでは実現不可能な見通しになったことを受け、要請書を提出した。

内容は（1）検証結果が出た段階で市民に住民投票で選択された案で実現可能かどうか答えること（2）実現不可能ならば、市民を欺いたことを謝罪すること—の2点。

[以下、未収録]